

令和6年度

第52回 東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会

三重大会

第46回 三重県公立小中学校教頭会研究大会

分科会運営協議会



Ise-jingu / Ise-shi

日時：令和6年10月4日（金）15：00～

形式：オンライン

場所：勤務校

内容：三重大会について

全体説明 ⇒ 分科会詳細説明（ブレイクアウトルー

三重大会実行委員会

三重大会運営協議会資料 目次 （三重大会運営要綱より抜粋）

番号		内容		ページ	
I	1		東陸研究大会三重大会概要	1	
	2		研究課題及び分科会研究の視点	4	
III			大会スケジュール		
	2		全体会	7	
	3		分科会	9	
IV			全体会		
	3		全体会・県別座席表（県外・三重県）	10	
	4		大ホール会場設営及び受付・荷物預かり図	11	
V			分科会		
	1		助言者・提言者等一覧	12	
	2		提言主題・研究の視点	13	
	3		機器使用	14	
	4		分科会運営について	15	
	5	1	分科会打合せ	16	
			3	第1A分科会会場図	17
			4	第1A分科会進行表	18
		1B	3	第1B分科会会場図	20
			4	第1B分科会進行表	21
		2	3	第2分科会会場図	23
			4	第2分科会進行表	24
		3	3	第3分科会会場図	26
			4	第3分科会進行表	27
		4	3	第4分科会会場図	29
			4	第4分科会進行表	30
		5	3	第5分科会会場図	32
			4	第5分科会進行表	33
	VII			その他	
			全体会・分科会会場図	35	

三重大会開催要項

- 1 大会主題 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
- 2 期 日 令和6年10月30日(水)・31日(木)
- 3 主 催 東海・北陸地区公立学校教頭会 三重県公立小中学校教頭会
- 4 後 援 三重県教育委員会 津市教育委員会 三重県小中学校長会 全国公立学校教頭会
- 5 会 場 1日目〔全体会〕 三重県総合文化センター 大ホール
2日目〔分科会〕 三重県総合文化センター、 三重県教育文化会館
プラザ洞津、 ホテルグリーンパーク津

日	時																	
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18							
10/30 (水)					受付	開 行 会 事	記念講演	換 移	分科会 会 場 設 営 等			理事会						
10/31 (木)	開 場	分科会																

第1日目 【10月30日(水)】

I 全体会

1 開会行事 <13:00～13:50>

- (1) 開式のことば
- (2) 国歌 斉唱
- (3) 会長あいさつ 東海・北陸地区公立学校教頭会会長 川北直樹
- (4) 来賓祝辞 三重県教育委員会教育次長 荻田直樹
津副市長 南条弥生
三重県市町教育長会会長 中田雅喜
三重県小中学校長会会長 林康子
全国公立学校教頭会会長 松野博文
- (5) 来賓紹介
- (6) 祝電披露
- (7) 基調提案 三重大会研究推進委員長 谷理恵
- (8) 閉式のことば

2 記念講演 <14:00～15:30>

- 講師 鳥羽水族館 館長 若井嘉人 さん
- (1) 講師紹介
- (2) 講演 演題 世界一しあわせになれる水族館をめざして
～楽しいだけじゃない、館長が語る水族館の裏話～
- (3) お礼のことば

3 次期開催県あいさつ 富山県公立小中学校教頭会会長 吉川浩二

4 諸連絡

II 分科会会場設営等 <16:10～17:00>

III 東海・北陸地区公立学校教頭会役員理事会 <18:00～20:00>

第2日目 【10月31日(木)】

IV 分科会

分科会(1A、2、5)	
受付	8:30~9:00
(1) 開会のことば	9:00~9:05
(2) 司会者あいさつ	9:05~9:10
(3) 提言1 質疑応答	9:10~9:30
(4) グループ協議・報告	9:30~10:15
休憩(10分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:25~10:45
(6) グループ協議・報告	10:45~11:30
(7) 指導助言	11:30~11:50
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:50~12:00

分科会(1B)	
受付	8:40~9:00
(1) 開会のことば	9:00~9:05
(2) 司会者あいさつ	9:05~9:10
(3) 提言1 質疑応答	9:10~9:30
(4) グループ協議・報告	9:30~10:15
休憩(10分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:25~10:45
(6) グループ協議・報告	10:45~11:30
(7) 指導助言	11:30~11:50
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:50~12:00

分科会(3)	
受付	8:30~8:50
(1) 開会のことば	8:50~
(2) 司会者あいさつ(日程説明)	
(3) 提言1 質疑応答	9:00~9:20
(4) グループ協議・報告	9:20~10:00
休憩(15分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:15~10:35
(6) グループ協議・報告	10:35~11:15
(7) 指導助言	11:15~11:35
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:35~11:45

分科会(4)	
受付	8:30~9:00
(1) 開会のことば	9:00~
(2) 司会者あいさつ(日程説明)	
(3) 提言1 質疑応答	9:10~9:30
(4) 提言2 質疑応答	9:30~9:50
休憩・移動(15分間)	
(5) 提言1のグループ協議	10:05~10:40
(6) 提言2のグループ協議	10:40~11:15
移動(10分間)	
(7) グループ協議の報告	11:25~11:40
(8) 指導助言	11:40~12:00
(9) 閉会のことば(諸連絡)	12:00~12:10

7 会場

第1日目 【10月30日(水)】

	会場名	住所	電話
全体会	三重県総合文化センター	〒514-0061 津市一身田上津部田1234	059-233-1114
役員・理事会	ホテルグリーンパーク津	〒514-0009 津市羽所町700	059-213-2111

第2日目 【10月31日(木)】

分科会名	会場名	住所	電話
1A	プラザ洞津	〒514-0042 津市新町1-6-28	059-227-3291
1B	三重県教育文化会館	〒514-0003 津市桜橋2-142	059-228-1122
2、4、5	三重県総合文化センター	〒514-0061 津市一身田上津部田1234	059-233-1114
3	ホテルグリーンパーク津	〒514-0009 津市羽所町700	059-213-2111

8 参加者数

全体会参加者数

県名	富山	愛知	岐阜	福井	静岡	石川	三重	計
人数	70	323	124	66	173	69	494	1319

分科会参加者数

分科会 視察者 約 10名 本部待機 5名

分科会	研究課題	提言県	富山	愛知	岐阜	福井	静岡	石川	三重	計
1A	教育課程に関する課題	富山 三重	11	56	22	10	24	10	63	196
1B	教育課程に関する課題	石川 三重	9	45	20	8	24	9	64	179
2	子どもの発達に関する課題	愛知 三重	13	64	24	12	30	13	109	265
3	教育環境整備に関する課題	岐阜 三重	13	64	28	12	34	11	63	225
4	組織・運営に関する課題	福井 三重	12	65	26	12	31	13	99	258
5	教職員の専門性に関する課題	静岡 三重	10	50	22	10	26	11	80	209
合計			68	344	142	64	169	67	478	1332

9 分科会 詳細

分科会	会場	全体分散	人数	グループ数・内訳			
				G人数	G数	提言者等	スタッフ
1A	プラザ洞津	全・分	196	183	28G×6人 3G×5人	8	5
1B	三重県教育文化会館	全・分	179	166	26G×6人 2G×5人	7	6
2	三重県総合文化センター(文化会館)	全・分	265	251	41G×6人 1G×5人	7	7
3	ホテルグリーンパーク津	全・分	225	211	31G×6人 5G×5人	9	5
4	三重県総合文化センター(男女共同参画センター)	全・分	258	235(78)	13G×6人	9	5
4	三重県総合文化センター(男女共同参画センター)	分		81	11G×6人 3G×5人	0	5
4	三重県総合文化センター(男女共同参画センター)	分		76	11G×6人 2G×5人	0	4
5	三重県総合文化センター(文化会館)	全・分	209	194	29G×6人 4G×5人	7	8

本部 待機 4名

10 助言者・提言者・提言主題

分科会名	提言県	提言主題	提言者	学校名	助言者
1A	富山	幼・保・小・中連携による円滑な接続のための教育課程の編成	表 克昌	氷見市立比美乃江小学校	津市立南が丘小学校 校長 寺田 正秋
	三重	地域とともにある学校づくりを進めるために -複式教育の実践と学校教育活動における教頭の関わりについて-	岡田 久仁夫 松尾 信子	亀山市立屋生小学校 亀山市立白川小学校	
1B	石川	地域性を生かした教育活動の推進 -小中9年間をスパンとした学びを推進するために-	中越 真澄	志賀町立志賀小学校	三重県教育委員会 小中学校教育課・主幹兼係長 安達 五百 教育政策課・主幹兼係長 久保 好洋
	三重	教育目標実現にむけた教頭の役割 -新しい教育ビジョンの視点を通じた情報共有を通して-	奥井 守	伊勢市立みなと小学校	
2	愛知	思いを共有し、心をつなぐ目標へ向かう子どもの育成 -教頭としての「つなぐ」役割を再認識して-	松井 亮	額田郡幸田町立幸田中学校	津市立藤水小学校 校長 平松 有吾
	三重	知る・学ぶ・支える -教頭としてできること-	山添 典子	紀北町立東小学校	
3	岐阜	「学校が楽しい！」といえる学校づくり -ICTの活用を通じた環境整備と教頭の役割-	井上 貴弘 飯尾 友謙 河路 大輔	美濃加茂市立西中学校 美濃加茂市立東中学校 美濃加茂市立山手小学校	三重県教育委員会 小中学校教育課・ 課長補佐兼班長 谷本 博史
	三重	地域とともに創る安心・安全な教育環境 -「地域とともにある学校づくり推進に係る地域連携」における教頭の関わりについて-	杉村 紀男	津市立豊里中学校	
4	福井	効果的で持続可能な学校組織や学校運営のための町教頭会組織づくり -「働き方の満足度を高める」業務改善・働き方改革に向けて-	松宮 誠 島津 真喜雄	若狭町立鳥羽小学校 若狭町立みそみ小学校	三重県教育委員会 教職員課・班長 山本 エリ 教育総務課・班長 野田 昌孝
	三重	ICT活用による校務処理等の効率化の推進について	高須 英彰 西尾 雅紀	四日市市立中央小学校 四日市市立三重西小学校	
5	静岡	教職員の専門性「授業力」の向上に向けた教頭会の取組 -藤枝市「授業で人を育てる」伝統の継承と研修主任の育成を通して-	向島 孝至	藤枝市立大洲中学校	津市立橋南中学校 校長 西川 和男
	三重	教師の専門性を高め、学び続ける教員を育てるための副校長・教頭の役割 - 鈴鹿市教頭会の取組から -	神戸 勝浩	鈴鹿市立平田野中学校	

1-2 研究課題及び分科会研究の視点

<< 研究課題 >>

研究主題と全国共通研究課題

1 第13期 研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」

<< 重点内容 >>

第13期では、主題を「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」、キーワードとして「自立・協働・創造」と設定しました。これは、第3期教育振興基本計画の「今後の教育政策に関する基本的な方針」における「1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」と「2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」の2つをもとにしています。

<< 主題について >>

① 未来を切り拓く力

「未来を切り拓く力」とは、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていくために、自らの個性を發揮し、自信をもって自らの未来を、自らの手で切り拓く力であり、様々な困難な課題に自ら考え、判断し、積極的に対応する力であると考えます。よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていくために、自らの個性を發揮し、自信をもって自らの未来を、自らの手で切り拓く力であり、様々な困難な課題に自ら考え、判断し、積極的に対応する力であると考えます。

② 魅力ある学校づくり

学習指導要領の前文にもあるように、「よりよい学校を通して、よりよい社会を創る」という理念を受け、社会に開かれた教育課程の実現にむけて、副校長・教頭として「魅力ある学校づくり」に取り組んでいくことが重要です。子供たちが笑顔で学校に通い、安心して教育を受けられることはもちろん、保護者や地域住民の方たちに信頼され魅力を感じていただける「魅力ある開かれた学校づくり」に取り組まなければなりません。同時に、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のため、学校における働き方改革の着実な具現化を図り、教師にとっても「魅力ある学校」となるように努めていかなければなりません。教職の魅力を発信し、新たな時代の教育に対応できる質の高い教師の確保につなげていきます。

2 全国共通研究課題及び研究の視点と具体的内容

<< 第1課題 >> 教育課程に関する課題

第1課題は、学校教育の根幹をなす教育課程に関する課題です。教育課程、編成、実施、評価、改善など多岐にわたる内容を包含しています。また、教育課程には、教育理念や教育目標の設定に関する事柄のように、私たちの諸先輩が、脈々と研究を重ね、実践を積んできたものがある一方で、社会の要請に応えるために、現代的な諸課題に対応したものもあります。ここでは、それらに対して副校長・教頭は、どのように積極的に関わっていくかが大きな課題となります。新学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、新しい時代に必要となる資質・能力の育成やそれらを踏まえた教科・領域等の新設・見直し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が求められています。このように、時代とともに変化していく学習指導要領の理念をいかに具現化するかが、教育課程そのものであり、副校長・教頭として積極的に編成、実施に取り組んでいくことが、私たちの責務です。また、各学校においては、自己評価、学校関係者評価、第三者評価等を通して、自らの教育活動等の成果と課題、改善と進化の方向性を不断に検証し、組織的・継続的に学校運営の改善を図っています。そこには 課題も多く、今後も、教職員の共通理解のもと、カリキュラム・マネジメントを軸とした学校改善の取組とともに、副校長・教頭として、教育課程の評価、改善にどのように取り組んでいくかも研究していく必要があります。さらに、学校段階間や学校・家庭・地域の連携、体験活動の充実、地域の実態を生かした活動、コミュニティ・スクールの推進など、各学校の創意工夫を生かした教育課程の編成についても、継続性、協働性、関与性などの観点から取り上げることができます。

<<第2課題>>子供の発達に関する課題

第2課題は、児童生徒の確かな学力の確実な定着や豊かな人間性の育成、健康・体力の増進に関わる課題です。ここ数年は感染症対策によって新しい生活様式の中での学校教育が求められ、制限のある中においてもICT機器の有効活用等によって、子供主体の学びが大きく進められています。本課題は、今後さらに加速していくであろう Society 5.0 に向けて、予測困難な社会への対応や Well-being の理念の実現が求められる中、持続可能な社会の担い手としてたくましく未来を切り拓く力の育成に資する資質・能力を培う教育に関する課題でもあります。具体的には、「社会に開かれた教育課程」の実現をはじめ、児童生徒理解に基づく学級経営や生徒指導、キャリア教育、人間尊重の教育、特別支援教育、福祉教育、環境教育、国際理解教育、プログラミング教育、平和教育などの教育課題への取組、さらには自己肯定感やコミュニケーション能力、情報活用能力（情報モラル やメディアリテラシーを含む）、協働的な問題発見・解決能力などの育成に関わる取組が必要とされています。ここでは児童生徒の発達を支援するための教育や、「VUCA」の時代を迎えた今、子供自身が未来を見据え、豊かな人生を切り拓いていくことを推進するための様々な教育課題への対応など、多岐にわたる教育内容を取り上げていきます。これらの課題解決にあたっては、未来を生きる児童生徒に求められる資質・能力を的確に捉えると共に、家庭・地域社会、関係諸機関、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどとの連携と協働を基盤とした校内指導・支援体制の確立を軸に研究の推進にあたる必要があります。研究推進の取組は地域や学校の置かれている環境等によって様々異なりますが、共通の視点となるものを見いだしながら実践研究につなげていき、活動を通して副校長・教頭として児童生徒、教職員、保護者、地域社会との関わり方を明確にしていく必要があります。

<<第3課題>>教育環境整備に関する課題

第3課題は、児童生徒や全教職員が自らの学校生活を豊かにするために、主体的に考え取り組むことができる教育活動を支える環境整備に関わる課題です。学校運営協議会を中心に学校と家庭及び地域社会との協力や連携を進め、共有したランドデザインを基に開かれた学校づくりを推進していく必要があります。その際に副校長・教頭としてどのように関わり、魅力ある授業づくりや学校行事・運営において地域社会との連携を行うのか、組織の在り方や連携の在り方についての熟議などが重要な課題となります。また、校区の幼・保・小・中・高・特別支援学校が積極的に情報を共有して協力体制をとっていくことも重要です。それぞれの発達段階における課題の共有とカリキュラムマネジメントが課題となります。さらに、最近の想定を超えた突発的災害（自然、感染症等）に対し、地域や周辺環境、学校規模に応じた体制を学校としてどう整えていくかは喫緊の課題です。また、児童生徒の安全を守り、登下校での事件事故をどのように防いでいくのか、学校事故への対処や施設などの安全管理に関することも不可欠になってきています。また、教育の情報化への対策として1人1台端末の学校運営や授業等における活用やICT機器や学校間の情報共有システムの充実を進める必要があります。そこで、施設・設備の効果的な活用、安全の保持、教材教具・教育機器・各種資料の整備充実、文書事務・経理事務の適正な運用と管理などが課題として挙げられます。そして、学校を支える必要条件として、行政と学校の関係、学校予算、定数改善、処遇などの問題、へき地・離島や学校規模などの課題に対して、副校長・教頭としての関与性の観点から課題解決に迫ることが大切です。

<<第4課題>>組織・運営に関する課題

第4課題は、学校が組織として機能し、学校を取り巻く様々な課題に適正かつ迅速に対応するための体制づくりに関わる課題です。校務処理の効率化や校内コミュニケーションの活性化などの課題から、組織マネジメントを生かした学校経営など、幅広い課題があります。近年、地域の力を学校経営に生かすためのコミュニティ・スクールの取組や、様々な課題に対応していくための外部専門機関との連携、幼・保・小・中・高・特別支援学校の学校段階間の連携についてなど、校内だけにとどまらず、地域社会との連携を推進する取組が多くなされています。また、児童生徒の問題行動や保護者・地域からの相談への対応、個人情報保護、教職員の不祥事、さらには、防災、減災、防犯など様々な状況に適切に対応できる危機

管理体制の強化も重要になっており、このような取組の窓口は、多くの場合、副校長・教頭となっています。これらの取組が、教育効果の高いものとなるためには、個々の教員が個別に教育活動に取り組むのではなく、学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げるとともに、必要な指導体制を整備することが必要です。

<<第5課題>>教職員の専門性に関する課題

第5課題は、教育の専門家であることの意識と資質に関わり、副校長・教頭のリーダーシップに期待されるところが大きい課題です。また、児童生徒に育成すべき資質・能力を確実に育むための指導方法がどうあるべきかを、副校長・教頭が、いかに職員と関わりながら推進していくかが必要となってきます。ここでは、教職員の資質向上を図るための研修、職務意識の高揚、服務規律、学校運営参画意識の醸成や、協働体制の構築が課題となります。中でも、今後ベテラン教員の大量退職と若手教員の増加等、学校教育力の維持・向上に向けた、教職員の資質向上と職務意識の高揚は、喫緊の課題です。そのために、副校長・教頭として校内外の専門スタッフや関係諸機関との協働体制が構築された学校づくりを目指し、「チーム学校」づくりが求められます。これまでの校内研修の在り方を再考するとともに、GIGA スクール構想を踏まえた1人1台端末の活用等、多様な研修方法の導入などを検討し、研修を充実させる必要があります。特に、新学習指導要領の目指す教育目標の実現に向け、一人一人の教職員の持ち味を生かしつつ、学び合い、支え合い、お互いが切磋琢磨し、学び続ける教師集団を目指す必要があります。また、児童に自他のよさを認識させ、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となるよう、学校組織としてどう取り組んでいくか、継続性、協働性、関与性を踏まえ、以下の観点から考えていく必要があります。

<<分科会研究の視点>>

分科会名	研究課題	研究の視点
第1A分科会	教育課程に関する課題	○学校段階間の円滑な接続への取組について ○複式教育の実践と地域に根差した教育活動の展開における教頭の役割について
第1B分科会	教育課程に関する課題	○地域性を活かしながら9年間を見通した教育活動の推進について ○教育目標の具現化に向けた教頭の役割について
第2分科会	子どもの発達に関する課題	○子どもと地域の思いをつなぐ取り組みを生かした豊かな心の育成について ○困難を抱えさせられている多様な子どもへの対応と教職員に対する教頭の働きかけについて
第3分科会	教育環境整備に関する課題	○ICT環境の整備と活用のあり方における教頭の役割について ○地域社会とのつながりと安心・安全な教育環境整備における教頭の関わりについて
第4分科会	組織・運営に関する課題	○学校における働き方の満足度を高める教頭の役割について ○校務処理等の効率化の推進に向けた教頭の関わりについて
第5分科会	教職員の専門性に関する課題	○教職員の授業力を高め資質・能力の向上を図るための教頭の役割について ○教職員の専門性に対する意識及び学校運営参画への意欲を向上させるための教頭の役割について

Ⅲ 2 大会スケジュール 10月30日(水) 全体会

30日	内 容	留意事項	運営委員	総務・編集 会員	会場部	提言 関係	三重県 参加者
8:20							
8:30	運営委員集合	打合せ ・準備進行状況 ・各担当者より	集合				
8:40							
8:50							
9:00	津市・理事集合	総文 ホワイエ	集合	集合	集合		
9:10	準備開始	・挨拶・出席確認 ・作業内容の説明 ・作業後の動き	打合せ	打合せ	打合せ		
9:20	準備開始	・各自 担当準備へ					
9:30							
9:40							
9:50	リハーサル		リハーサル	準備続き 弁当受取 弁当仕分け			
10:00							
10:10				会場常駐スタッフ1： 分科会ボックスの確認			
10:20		準備ができたなら、昼 食を					
10:30							
10:40	昼食			昼食			
10:50	誘導・案内係作業開始				誘導・案内開始		
11:00							
11:10							
11:20							
11:30	駐車場係作業開始						
11:40	受付開始			受付開始 県内外受付 救護 来賓受付 写真(編集)	駐車場関係 開始 受付開始 県外受付 来賓接待 来賓案内 全体案内 荷物預かり		
11:50	来賓受付 荷・案開始 接待開始		山元(2階受 付) 谷(受付) 松井・中野 (ステージ 映像) 磯部・小林 (東陸・全 公教関係案 内) 稲森(来 賓)				
12:00	映像START	映像開始				受付開始	
12:10						2階で受付	2階で受付
12:20		三重県内の参加者は 遅刻しないで受付を 済ませる				遅刻しない で受付を済 ませる	遅刻しない で受付を済 ませる
12:30							
12:40							
12:50	役員着席 来賓入場	東陸会長 東陸会長着席					
13:00	開会のことば		司会	受付表の整理	受付表の整理		
13:10	国歌斉唱 会長挨拶 来賓祝辞 来賓紹介 来賓退場	CDを流す	開会・閉会 のことば 挨拶 PWの操作 来賓紹介 基調提案	受付待機 救護待機 全体会写真 開会行事参 加	受付待機 荷物待機 分科会場準 備1 開会行事参 加		
13:20	基調提案						
13:30	閉会のことば						

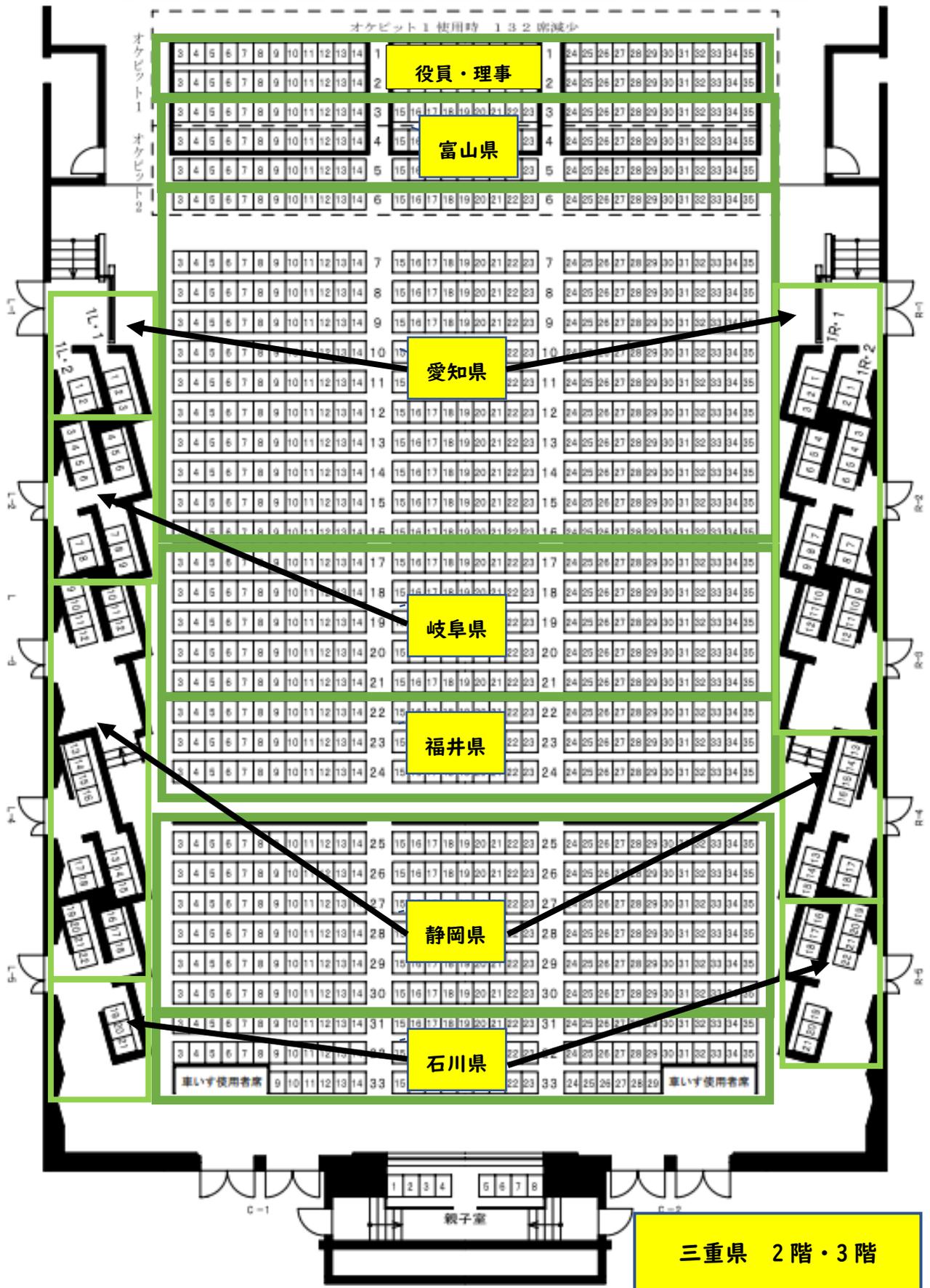
30日	内 容	留意事項	運営委員	総務・編集 会員	会場部	提言 関係	三重県 参加者
13:40	記念講演準備 2日目参加者確認のため分科会別 名簿に参加者を転記(受付)		準備		受付待機		
13:50	休憩						
14:00	記念講演	案内・駐車場 終了	記念講演運営 司会 講師紹介 お礼の挨拶 花束贈呈 マイク対応 写真撮影		分科会場準 備 (1B) 記念講演参 加 荷物待機		
14:10							
14:20							
14:30							
14:40							
14:50							
15:00							
15:10							
15:20							
15:30	お礼のことば						
15:40	次期開催県挨拶 諸連絡 閉会のことば	バスの案内	2,4,5分科会場準備 荷物返却準備 シャトルバス準備				
15:50							
16:00							
16:10	分科会設営		会場片付け 明日の打合 せ 分科会会場 部からの終 了報告を待 つ	会場片付け	・2,4,5分科 会場準備 ・荷物返却 準備 ・シャトル バス準備 ・全体会終 了後 1A、 3会場物品移 動 ・会場片付 け 終了後報告	・打合せ 1A, 3 ・リハーサ ル 1B, 2, 4, 5	会場設営及 び会場担当 者は記念講 演終了後 各会場に向 かい、 各会場で会 場設営 第2,4,5 会場設営 スタッフ 一覧 第2分科会 ⇒P61 第4分科会 ⇒P73 第5分科会 ⇒P80
16:20							
16:30							
16:40							
16:50		大ホール撤 収					
17:00							
17:10	荷物返却終了						
17:20							
17:30							
17:40							
17:50			準備 受付				
18:00							
～	東海北陸 教頭会 理事会		県役員 事務局 参加				
20:00							

Ⅲ 3 大会スケジュール 10月31日(木) 分科会

参加分科会名	
各自の役割	
名前・勤務校	

10/31	内 容			各自の タイムスケジュール	各自 留意事項を記入
	第1A,1B,2,5	第3分科会	第4分科会		
8:00	各会場集合				
8:10					
8:20					
8:30					
8:40	※第1B分科会のみ8:40 より受付開始	受付開始 事前打合			
8:50		開会の言葉			
9:00	開会の言葉	提言 I	開会の言葉		
9:10	提言 I		提言 I		
9:20	提言 I	グループ 討議 ・ 報告	提言 II		
9:30	グループ討議 ・ 報告		提言 II		
9:40	グループ討議 ・ 報告	休憩	休憩		
10:10	休憩		休憩		
10:20	提言 II	グループ討議 ・ 報告	グループ討議		
10:30	提言 II		グループ討議		
10:40	グループ討議 ・ 報告	移動	移動		
10:50	グループ討議 ・ 報告		移動		
11:00	助言・ 指導	閉会の 言葉	報告		
11:30	助言・ 指導		報告		
11:40	閉会の 言葉	記録用紙回収 機器搬出 撤収	指導助言		
11:50	閉会の 言葉		指導助言		
12:00	記録用紙回収 撤収	記録用紙回収 撤収	閉会の言葉		
12:10	記録用紙回収 撤収		記録用紙回収 撤収		
12:20					
12:30					
12:40					

全体会県別座席表



IV 大ホール受付 荷物預かり配置図

2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47

研究部
宮田 理事
疋田 理事
田中 理事
伊藤 理事

2階 三重県受付
長谷川 寺谷 村田 曾和 草川 高橋
理事 理事 理事 南地区

三重県受付 10人 → 理事8人・南地区2人
県外 受付 20人 → 理事4人・中地区16人
誘導・補助 6人 → 南地区6人
計 36人

1階 県外受付

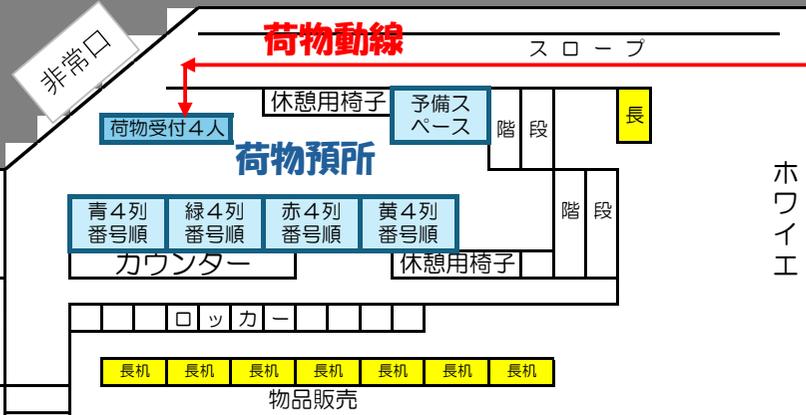
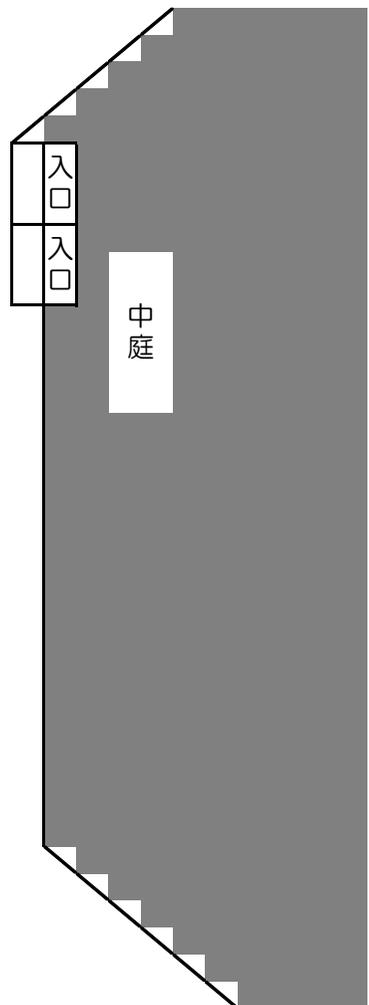
受付誘導・補助⑥
(津南地区)

受付 ①	受付 ②	受付 ①	受付 ②	受付 ①	受付 ②	津市受付なし
長机	長机	長机	長机	長机	長机	
桑名	いなハ	四日市	三重郡	鈴鹿	亀山	
4	2	6	1	4	1	
0	3	1	4	6	5	
63 75 61			67 52 47 68			71

※2名配置のところは隣も手伝う

中岡	近藤	津	②	長	岐阜	150
横井	野田	津	②	長	岐阜	185
安藤	東出	津	②	長	静岡	69
岩本	松田	津	②	長	富山	名古屋97
大杉	柳井	津	②	長	愛知	尾張124
平山	東浦	津	②	長	愛知	三河124
三輪	近藤	津	②	長	愛知	70
伊藤	柳井	津	②	長	石川	64
水野	東出	津	②	長	福井	
足立	久保	津	②	長		

エントランス



ホワイエ



各県会長受付
↑備え付けのもの

中ホールへの通路

V-1 分科会助言者・提言者等一覧

分科会	研究課題	助言者	提言者			司会者	記録者	運営責任者 機器担当者	会場責任者	分科会会場	参加者数
1A	教育課程に関する課題	津市立南が丘小学校 校長 寺田 正秋	富山	表 克昌	水見市立比美乃江小学校	松本 剛	佐藤 真由美	近澤 麻里	竹花 哲也	プラザ洞津 飛翔の間	196人
			三重	岡田 久仁夫	亀山市立昼生小学校	桑名市立多度中	桑名市立長島中	亀山市立川崎小学校	津市立川口小学校		
				松尾 信子	亀山市立白川小学校	亀山市立加太小学校	亀山市立亀山南小学校	津市立香海中学校	津市立家城小学校		
1B	教育課程に関する課題	三重県教育委員会 小中学校教育課・主幹兼係長 安達 五百 教育政策課・主幹兼係長 久保 好洋	石川	中越 眞澄	志賀町立志賀小学校	池田 純代	大山 浩	中岡 清	坂倉 憲子	三重県教育文化 会館 多目的ホール	179人
			三重	奥井 守	伊勢市立みなと小学校	鳥羽市立弘道小学校	鳥羽市立答志中学校	志摩市立磯部小学校	津市立栗葉小学校		
							川井 良成	山田 水奈子	榎田 誠		
2	子どもの発達に関する課題	津市立藤水小学校 校長 平松 有吾	愛知	松井 亮	幸田町立幸田中学校	仲森 久	阪口 和彦	宮田 康弘	梅谷 太一	三重県総合文化 センター 第1ギャラリー	265人
			三重	山添 典子	紀北町立東小学校	熊野市立木本中学校	熊野市立金山小学校	桑名市立立教小学校	津市立南郊中学校		
						尾鷲市立尾鷲小学校	尾鷲市立向井小学校	津市立東橋内中学校	津市立一志東小学校		
3	教育環境整備に関する課題	三重県教育委員会 小中学校教育課 課長補佐兼班長 谷本 博史	岐阜	井上 貴弘 飯尾 友謙 河路 大輔	美濃加茂市立西中学校 美濃加茂市立東中学校 美濃加茂市立山手小学校	西村 忠悦	湯浅 千夏	野田 幸代	東出 祥子	ホテルグリーン パーク津 伊勢・安濃の間	226人
			三重	杉村 紀男	津市立豊里中学校	松阪市立第四小学校	松阪市立中川小学校	津市立黒田小学校	津市立一身田小学校		
						津市立片田小学校	津市立一身田中学校国児分校	津市立豊が丘小学校	津市立大里小学校		
4	組織・運営に関する課題	三重県教育委員会 教職員課・班長 山本 エリ 教育総務課・班長 野田 昌孝	福井	松宮 誠 島津 真喜雄	若狭町立鳥羽小学校 若狭町立みそみ小学校	鈴木 孝俊	森 景子	疋田 哲也	三谷 由樹子 津市立育生小学校	三重県総合文化 センター 多目的ホール	258人
			三重	高須 英彰 西尾 雅紀	四日市市立中央小学校 四日市市立三重西小学校	四日市市立保々小学校	四日市市立八郷小学校	津市立榊原小学校	近澤 慎弥 津市立高茶屋小学校		
						四日市市立大池中学校	四日市市立三滝中学校	津市立楯形小学校	津市立高野尾小学校		
5	教職員の専門性に関する課題	津市立橋南中学校 校長 西川 和男	静岡	向島 孝至	藤枝市立大洲中学校	宮崎 美知	佐藤 義央	寺谷 寿美	小宮 康子	三重県総合文化 センター 小ホール	209人
			三重	神戸 勝浩	鈴鹿市立平田野中学校	鈴鹿市立一ノ宮小学校	鈴鹿市立鈴西小学校	多気町立勢和小学校	津市立朝陽中学校		
						鈴鹿市立稲生小学校	鈴鹿市立白子小学校	津市立明小学校	津市立みさとの丘学園（後期）		

V-2 提言主題・研究の視点

分科会	研究課題	県	提言者	勤務校	提言主題	研究の視点
1A	教育課程に関する課題	富山	表 克昌	氷見市立比美乃江小学校	幼・保・小・中連携による円滑な接続のための教育課程の編成	学校段階間の円滑な接続への取組について
	教育課程に関する課題	三重	岡田 久仁夫 松尾 信子	亀山市立昼生小学校 亀山市立白川小学校	地域とともにある学校づくりを進めるために —複式教育の実践と学校教育活動における教頭の関わりについて—	複式教育の実践と地域に根差した教育活動の展開における教頭の役割について
1B	教育課程に関する課題	石川	中越 眞澄	志賀町立志賀小学校	地域性を活かした教育活動の推進 —小中9年間をスパンとした学びを推進するために—	地域性を活かしながら9年間を見通した教育活動の推進について
	教育課程に関する課題	三重	奥井 守	伊勢市立みなと小学校	教育目標実現に向けた教頭の役割 —新しい教育ビジョンの視点を通じた情報共有を通して—	教育目標の具現化に向けた教頭の役割について
2	子どもの発達に関する課題	愛知	松井 亮	幸田町立幸田中学校	思いを共有し、心一つにして目標へ向かう子どもの育成 —教頭としての「つなぐ」役割を再認識して—	子どもと地域の思いをつなぐ取り組みを生かした豊かな心の育成について
	子どもの発達に関する課題	三重	山添 典子	紀北町立東小学校	知る・学ぶ・支える —教頭としてできること—	困難を抱えさせられている多様な子どもへの対応と教職員に対する教頭の働きかけについて
3	教育環境整備に関する課題	岐阜	井上 貴弘 飯尾 友謙 河路 大輔	美濃加茂市立西中学校 美濃加茂市立東中学校 美濃加茂市立山手小学校	「学校が楽しい！」といえる学校づくり —ICTの活用を通じた環境整備と教頭の役割—	ICT環境の整備と活用のあり方における教頭の役割について
	教育環境整備に関する課題	三重	杉村 紀男	津市立豊里中学校	「地域とともに創る安心・安全な教育環境」 —「地域とともにある学校づくり推進に係る地域連携」における教頭の関わりについて—	地域社会とのつながりと安心・安全な教育環境整備における教頭の関わりについて
4	組織・運営に関する課題	福井	松宮 誠 島津 真喜雄	若狭町立鳥羽小学校 若狭町立みそみ小学校	効果的で持続可能な学校組織や学校運営のための町教頭会組織づくり —「働き方の満足度を高める」業務改善・働き方改革に向けて—	学校における働き方の満足度を高める教頭の役割について
	組織・運営に関する課題	三重	高須 英彰 西尾 雅紀	四日市市立中央小学校 四日市市立三重西小学校	ICT活用による校務処理等の効率化の推進について	校務処理等の効率化の推進に向けた教頭の関わりについて
5	教職員の専門性に関する課題	静岡	向島 孝至	藤枝市立大洲中学校	教職員の専門性「授業力」の向上に向けた教頭会の取組 —藤枝市「授業で人を育てる」伝統の継承と研修主任の育成を通して—	教職員の授業力を高め資質・能力の向上を図るための教頭の役割について
	教職員の専門性に関する課題	三重	神戸 勝浩	鈴鹿市立平田野中学校	教師の専門性を高め、学び続ける教員を育てるための 副校長・教頭の役割 —鈴鹿市教頭会の取組から—	教職員の専門性に対する意識及び学校運営参画への意欲を向上させるための教頭の役割について

V-3 【分科会 機器使用】

分科会	課題	提言県	提言者	使用PC	ソフト	音声・動画	操作	データ	資料	機器借用		
										PC	プロジェクター	その他
プラザ洞津 2階 飛翔の間												
1A	教育課程	富山	表 克昌 (比美乃江小)	持参	パワーポイント 2019	×	提言者			(予備機) 事務局①	会場担当 持参	
		三重	岡田 久仁夫 (昼生小) 松尾 信子 (白川小)	持参	パワーポイント 2016 or 2019	×	提言者				谷村千秋 (香海中)	
三重県教育文化会館 6階 多目的ホール												
1B	教育課程	石川	中越 眞澄 (志賀小)	会場設置 のもの	パワーポイント	×	提言者			事務局②	会場担当 持参	
		三重	奥井 守 (みなと小)	会場設置 のもの	Googleスライド	×	提言者	USB			榎田誠 (久居東中)	
三重県総合文化センター 2階 第1ギャラリー												
2	子どもの 発達	愛知	松井 亮 (幸田中)	会場設置 のもの	パワーポイント 2021	×	提言者			総文① 借用	2台 A:会場 担当持参 B: 総文借用 ※分岐ケーブル 含む	【愛知】 できればレー ザーポイン ターを借用 ※音響関係は 総文借用 (拡声装置・ マイク)
		三重	山添 典子 (東小)	会場設置 のもの	パワーポイント 2019	×	提言者					
ホテルグリーンパーク津 6階 伊勢・安濃												
3	教育環 境整 備	岐阜	井上 貴弘 (西中) 飯尾 友謙 (東中) 河路 大輔 (山手小)	持参	パワーポイント 2019	×	提言者			事務局③	事務局	
		三重	杉村 紀男 (豊里中)	会場設置 のもの	パワーポイント 2016	×	スタッフ					
三重県総合文化センター 1階 多目的ホール												
4	組 織 ・ 運 営	福井	松宮 誠 (鳥羽小) 島津 真喜雄 (みそみ小)	会場設置 のもの	パワーポイント バージョン2406	×	提言者			総文② 借用	会場附属品	
		三重	高須 英彰 (中央小) 西尾 雅紀 (三重西小)	会場設置 のもの	パワーポイント 2016	×	提言者					
三重県総合文化センター 地下1階 小ホール												
5	教 員 の 専 門 性	静岡	向島 孝至 (大洲中)	会場設置 のもの	パワーポイント 2016	×	提言者			総文③ 借用	会場附属品	
		三重	神戸 勝浩 (平田野中)	会場設置 のもの	パワーポイント	×	提言者					

V-4 分科会運営について

1 分科会運営の趣旨

- (1)口頭発表の内容について、質疑応答の全体協議及びグループ協議を中心に据え、深まりのある協議を行う。
- (2)できるだけ多くの参加者に協議の中で自県の研究内容を関連させて発言する機会を確保する。
- (3)できるだけ数多くの参加者との間で、意見交換や情報交換ができるようにする。
- (4)助言者からの助言を今後の教育活動に生かしていく。

2. 分科会の進め方

(1)日程について

<u>分科会(1A、2、5)</u>	
受付	8:30～9:00
(1) 開会のことば	9:00～9:05
(2) 司会者あいさつ	9:05～9:10
(3) 提言1 質疑応答	9:10～9:30
(4) グループ協議・報告	9:30～10:15
休憩(10分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:25～10:45
(6) グループ協議・報告	10:45～11:30
(7) 指導助言	11:30～11:50
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:50～12:00

<u>分科会(1B)</u>	
受付	8:40～9:00
(1) 開会のことば	9:00～9:05
(2) 司会者あいさつ	9:05～9:10
(3) 提言1 質疑応答	9:10～9:30
(4) グループ協議・報告	9:30～10:15
休憩(10分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:25～10:45
(6) グループ協議・報告	10:45～11:30
(7) 指導助言	11:30～11:50
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:50～12:00

<u>分科会(3)</u>	
受付	8:30～8:50
(1) 開会のことば	8:50～
(2) 司会者あいさつ(日程説明)	
(3) 提言1 質疑応答	9:00～9:20
(4) グループ協議・報告	9:20～10:00
休憩(15分間)	
(5) 提言2 質疑応答	10:15～10:35
(6) グループ協議・報告	10:35～11:15
(7) 指導助言	11:15～11:35
(8) 閉会のことば(諸連絡)	11:35～11:45

<u>分科会(4)</u>	
受付	8:30～9:00
(1) 開会のことば	9:00～
(2) 司会者あいさつ(日程説明)	
(3) 提言1 質疑応答	9:10～9:30
(4) 提言2 質疑応答	9:30～9:50
休憩・移動(15分間)	
(5) 提言1のグループ協議	10:05～10:40
(6) 提言2のグループ協議	10:40～11:15
移動(10分間)	
(7) グループ協議の報告	11:25～11:40
(8) 指導助言	11:40～12:00
(9) 閉会のことば(諸連絡)	12:00～12:10

(2)注意点

- 分科会全体は、分科会進行表、グループ協議はグループ協議進行表に基づいて進行する。
- グループ協議は、設定された話し合いの視点を踏まえて、協議する。
- グループ司会、記録共に三重県参加者を割り当てているが、記録が割り当てられていないグループは、グループ司会が他県参加者にお願いする。
- グループの人数は、最低4名とするが、欠席等で不足している場合は、分科会の全体記録、司会、スタッフの順にグループ協議に参加する。
- 各グループに三重県参加者が必ず参加している状態にする。

V-5 分科会打合せ

①分科会運営協議会（分科会係打合せ）10/4(金)15:00～

10/4(金)

場 所:勤務校

参加者:運営責任者・分科会司会者・提言者・分科会記録者・谷・山元

時 間	内 容	準備物	分科会進行表,進行シナリオ
15:00～	1. 分科会の大きな流れを説明する。(説明:運営責任者) 2. 今後の動き・業務内容について説明を聞き、確認する。(説明:前田) 3. 分科会ごとに、ブレイクアウトルームで打合せをする。(進行:運営責任者) 不明な点があれば確認する。		

10/30(水) ○機器の調整、提言者リハーサル(前日 行う)

10/31(木) ○機器の調整、提言者リハーサル(前日行えなかった分科会)

8:00～8:20 機器確認、リハーサル

②各グループ協議の司会者と記録者の打ち合せ及び進行

9/24(火)15:00～ 三重大会実行委員会にて打合せ

場所:オンライン ブレイクアウトルーム内

参加者:グループ協議の司会者と記録者・運営責任者・会場スタッフ

・業務内容、運営の流れを参照し、業務にあたる。

10/31(木)

時 間	内 容
8:40～8:50 グループ協議	1. 各グループの司会者 ①グループメンバーの出欠確認 ②グループ人数が4人以下ならば、会場責任者に報告する。 ③グループ協議の進行 <ul style="list-style-type: none"> ・記録者がいないグループは、他県の人をお願いする。 ・自己紹介は短時間で済ませる。 ・「教頭としての関わり」に視点を当てて協議する。 ・参加者全員から意見・質問を引き出すようにする。 ・「話し合いの視点」をうまく活用し、論点を絞り込む。 ・協議時間5分前になったら、まとめに入る。 ※ 発表グループに当たっている場合は、3分以内で概要を報告する。 発表を三重県外の人に依頼する。
	2. 各グループの記録者 ①グループ協議の記録 ②終了後 記録用紙を()に渡す。

③提言関係者事前打合せ

10/31(木)

場所:各分科会 提言者関係席

参加者:分科会司会者・提言者・分科会記録者・会場責任者・運営責任者

時 間	内 容
8:30～8:40 運営責任者が進行	1. 進行手順 1 担当者の紹介を助言・提言・司会・記録・会場責任・運営の順にする 2 進行の流れの説明 3 会場責任者からの注意事項 4 グループの人数に不足が出れば、記録・司会・スタッフの順にグループに入ることを述べる。 5 他に担当者からの質問等を聞く
	2. 分科会司会者 <ul style="list-style-type: none"> ・分科会の最初に、会の進め方(提言順序、時間配分等)を明確にする。 ・各県の実情、情報交換ができるように配慮する。 ・提言に対する成果と課題を中心に意見交換する。
	3. 提言者 <ul style="list-style-type: none"> ・時間を守って提案する。 ・教頭としての関わりが明確になるような実践例や失敗例など具体的に提案する。
	4. 分科会記録者 <ul style="list-style-type: none"> ・提言のまとめ、協議・助言の内容を報告書原稿にまとめる。(話し合いの視点を中心に)
	5. 会場責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・会場責任者としての注意事項を述べる。 ・新たに発生した問題への対応や指示をする。
	6. 運営責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・開会の言葉、閉会の言葉を述べる。 ・新たに発生した問題への対応や指示をする。

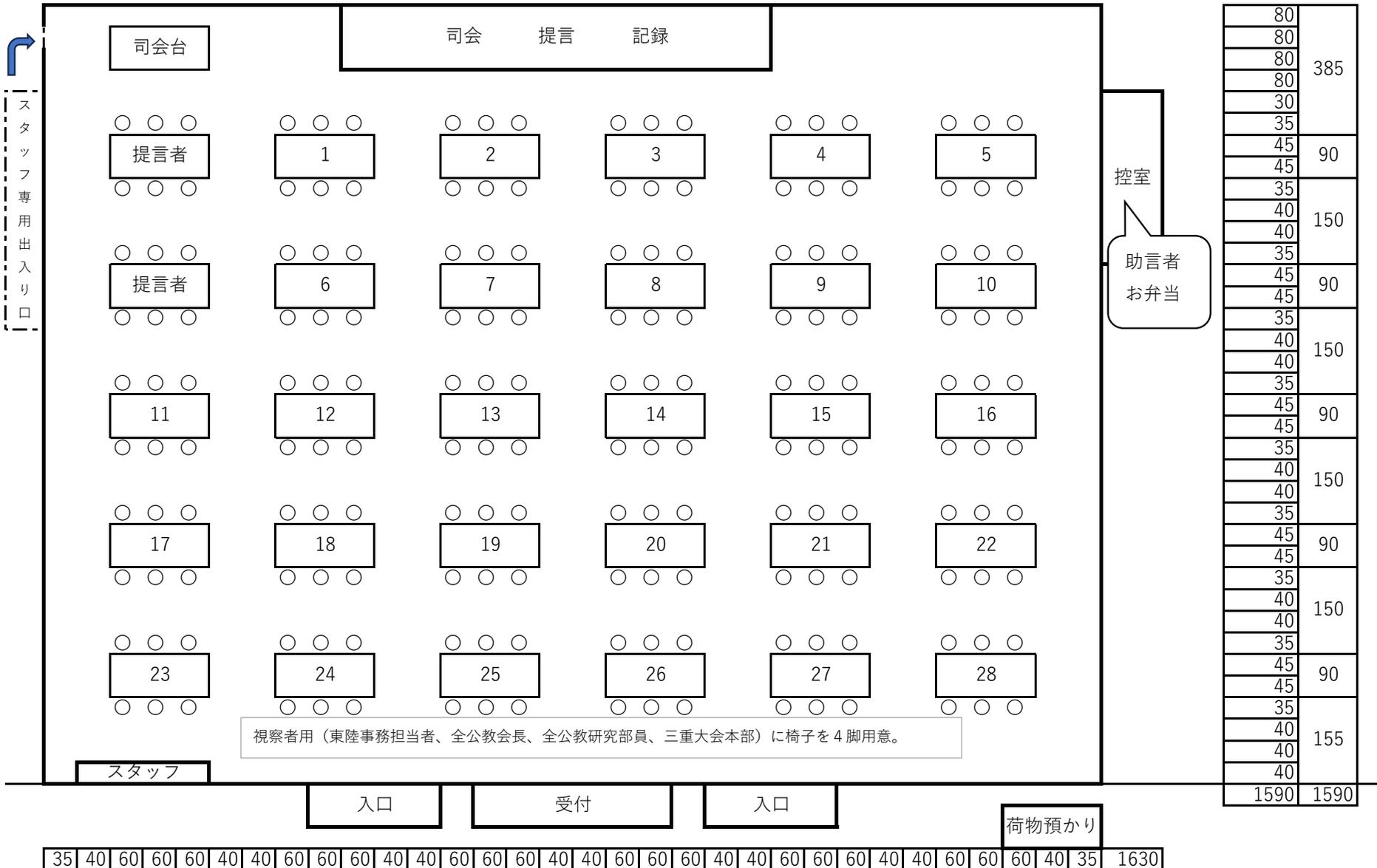
時刻	次第	進行内容
8:55	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 あとしばらくで、分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8:58	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第ⅠA分科会の運営を担当します 三重県 亀山市立 川崎小学校 近澤麻里です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしくお願いたします。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。 <u>また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。</u>
9:00	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第ⅠA分科会を開会いたします。この分科会の研究課題は、教育課程に関する課題です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介します。 助言者は、三重県津市立南が丘小学校 校長 寺田 正秋 (てらだ まさあき) 様です。どうぞ、よろしくお願いたします。 提言者は、富山県氷見市立比美之江 (とやまけんひみしりつひみのえ) 小学校 表 克昌 (おもて よしまさ) 教頭と、三重県亀山市立昼生 (みえけん かめやましりつ ひるお) 小学校 岡田久仁夫 (おかだ くにお) 教頭、亀山市立立白川 (みえけん かめやましりつ しらかわ) 小学校 松尾信子 (まつお のぶこ) 教頭です。どうぞ、よろしくお願いたします。 司会は、三重県桑名市立多度 (くわなしりつ たど) 中学校 松本剛 (まつもと ごう) 教頭と 亀山市立加太 (かめやましりつ かぶと) 小学校 廣森茂樹 (ひろもり しげき) 教頭です。どうぞ、よろしくお願いたします。 記録者は、桑名市立長島 (くわなしりつ ながしま) 中学校 佐藤真由美 (さとう まゆみ) 教頭と 亀山市立亀山南 (かめやましりつ かめやまみなみ) 小学校 小野寺順子 (おのでら じゅんこ) 教頭です。どうぞ、よろしくお願いたします。 それでは、この後の進行は、司会者にお願しておりますので、よろしくお願いたします。
9:05	司会者挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の松本剛と申します。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Ⅰの発表後、質疑を行い、グループ協議・報告を行っていただきます。休憩をはさみ、提言Ⅱへ進みます。提言Ⅱも同様に進めた後、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は三重県で担当を決めております。記録につきましては三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方をお願いします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。 それでは、提言Ⅰの表 克昌 (おもて よしまさ) 教頭先生、よろしくお願いたします。
9:10	提言Ⅰ (15分)	
9:25	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた 表先生、どうもありがとうございました。

9:30	グループ協議 (35分)	<p>それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅰの研究の視点「学校段階間の円滑な接続への取組について」が深まりますよう、協議をお願いいたします。</p> <p>報告の方は3分以内で要点のみお願いします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。では、グループ協議を開始してください。</p>
10:00		<p>残り5分ほどになりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。</p>
10:05	報告 (10分)	<p>熱心にご協議いただきありがとうございます。</p> <p>では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。</p>
10:15		<p>これより10分間の休憩に入ります。提言Ⅱは、10時25分に再開します。 (司会・記録の交代)</p>
10:25	提言Ⅱ (15分)	<p>後半の部の司会をさせていただきます廣森茂樹です。後半の部を始めます。提言Ⅱの岡田(おかだ)教頭先生、松尾(まつお)教頭先生 お願いします。</p>
10:40	質疑応答 (5分)	<p>ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。</p> <p>時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた岡田先生、松尾先生どうもありがとうございました。</p>
10:45	グループ協議 (35分)	<p>それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅱの研究の視点「複式教育の実践と地域に根差した教育活動の展開における教頭の役割について」が深まりますよう、協議をお願いいたします。</p> <p>記録は、前回同様をお願いします。では、グループ協議を開始してください。</p>
11:15		<p>残り5分になりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。</p>
11:20	報告 (10分)	<p>熱心にご協議いただきありがとうございます。</p> <p>では()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。</p>
11:30	助言 (20分)	<p>それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。三重県津市立南が丘小学校 校長 寺田 正秋(てらだ まさあき)様よろしくをお願いいたします。(終了)</p> <p>貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。</p>
11:50	閉会の言葉 (運営責任者)	<p>ご助言いただきました 寺田 様ありがとうございました。また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。そして、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思えます。</p> <p>以上をもちまして、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第ⅠA分科会を閉会いたします。ここで連絡がございませう。</p> <p>・アンケートに関しましては、要項最終ページ記載してありますので、二次元コード等により、<u>11月11日(月)まで</u>に必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>・グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、入口受付場所に記録用紙回収箱が置いてありますので、そこに提言Ⅰと提言Ⅱで分けて提出してください。</p> <p>・最後に津市の方は片づけをお願いします。</p> <p>それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>
12:00	解散 片付け	

第1B分科会会場 県教育文化会館 多目的ホール会場図

縦15.9m×横16.3m

35	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	35	1630
75	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	80	180	75	1630				



35	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	40	60	60	60	40	35	1630
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------

グループ数 26G×6+2G×5=166人 提言者等 9人 スタッフ 6人 計 181人

【分科会進行】

(第 1 B 分科会)

【三重県教育文化会館 多目的ホール会場】

時刻	次第	進行内容
8:50	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 あとしばらくで分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8:55	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第1B分科会の運営を担当します三重県志摩市立磯部小学校(中岡清)です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしくお願いたします。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。
9:00	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第1B分科会を開会いたします。この分科会の研究課題は、「教育課程に関する課題」です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介します。
		助言者は、三重県教育委員会 小中学校教育課・主幹兼係長 安達五百(あだち いほ)様、同じく教育政策課・主幹兼係長 久保好洋(くぼ こうよう)様です。どうぞよろしくお願いたします。
		提言者は、石川県志賀町立志賀小学校(いしかわけん しかちょうりつ しか)小学校 中越 眞澄(なかごし ますみ)教頭、三重県伊勢市立みなと(みえけん いせしりつ みなと)小学校 奥井 守(おくい まもる)教頭です。よろしくお願いたします。
		司会は、三重県鳥羽市立弘道(みえけん とぼしりつ こうどう)小学校 池田純代(いけだ すみよ)教頭と三重県伊勢市立明野(みえけん いせしりつ あけの)小学校 川井良成(かわい よしなり)教頭です。よろしくお願いたします。
		記録者は、鳥羽市立答志(とぼしりつ とうし)中学校 大山 浩(おおやま ひろし)教頭と伊勢市立城田(いせしりつ きだ)小学校 山田水奈子(やまだ みなこ)教頭です。よろしくお願いたします。
それでは、この後の進行は、司会者をお願いしてありますので、よろしくお願いたします。		
9:05	司会者挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の池田純代と申します。よろしくお願いたします。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Iの発表後、質疑を行い、グループ協議・報告を行っていただきます。休憩をはさみ、提言IIへ進みます。提言IIも同様に進めた後、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は三重県で担当を決めております。記録につきましては三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いいたします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方をお願いします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。それでは提言Iの中越 眞澄(なかごし ますみ)教頭先生、よろしくお願いたします。
9:10	提言I (15分)	
9:25	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた中越(なかごし)教頭先生、どうもありがとうございました。
9:30	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Iの研究の視点「地域性を生かしながら9年間を見通した教育活動の推進」について深まりますよう、協議をお願いいたします。 報告の方は3分以内で要点のみお願いします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。では、グループ協議を開始してく

		ださい。
10:00		残り5分ほどになりました。まとめに入ってください。報告は、()と()グループの方をお願いします。
10:05	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。 次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
10:15		これより10分間の休憩に入ります。提言Ⅱは、10:25に再開します。 (司会・記録の交代)
10:25	提言Ⅱ (15分)	後半の部の司会をさせていただきます 川井良成 です。後半の部を始めます。 提言Ⅱの奥井 守(おくい まもる) 教頭先生 をお願いします。
10:40	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた 奥井(おくい) 教頭先生 、どうもありがとうございました。
10:45	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅱの研究の視点「 教育目標の具現化に向けた教頭の役割 」について深まりますよう、協議をお願いいたします。 記録は、前回同様をお願いします。では、グループ協議を開始してください。
11:15		残り5分になりました。まとめに入ってください。報告は、()と()グループの方をお願いします。
11:20	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
11:30	助言 (20分)	それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。 提言Ⅰ について 三重県教育委員会 小中学校教育課 主幹兼係長 安達五百(あだち いほ) 様、よろしくお願いいいたします。 (終了後)貴重なご助言ありがとうございました。 続きまして提言Ⅱ について 三重県教育委員会 教育政策課・主幹兼係長 久保好洋(くぼ こうよう) よろしくお願いいいたします。 終了後貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。
11:50	閉会の言葉 (運営責任者)	ご助言いただきました 安達(あだち) 様、久保(くぼ) 様 ありがとうございました。 また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。そして、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思っております。 以上をもちまして、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第1B分科会を閉会いたします。 ここで連絡がございます。 ・アンケートに関しましては、要項最終ページ記載してありますので、二次元コード等により、 11月11日(月)まで に必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。 ・グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、入口受付場所に記録用紙回収箱が置いてありますのでそこに提言ⅠとⅡに分けて提出してください。 ・最後に 三重県の方は 片づけをお願いします。 それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。
12:00	解散 片付け	

【分科会進行】

(第 2 分科会)

【三重県総合文化センター第一ギャラリー 会場】

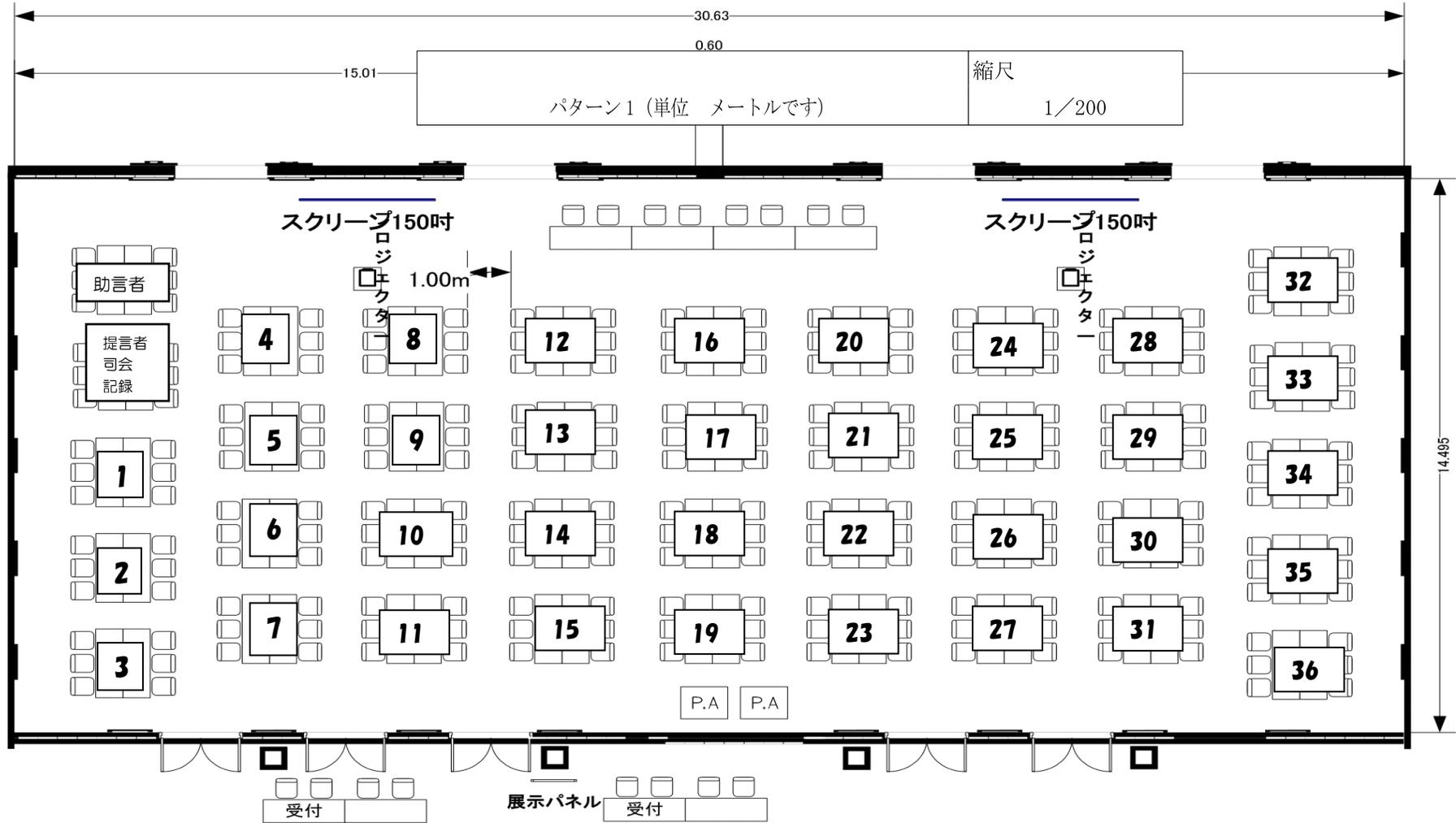
時刻	次第	進行内容
8:55	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 まもなく分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8:58	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第2分科会の運営を担当します三重県桑名市立立教小学校 宮田康弘です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしく願いいたします。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。
9:00	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第2分科会を開会いたします。この分科会の教育課題は、 子どもの発達に関する課題 です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介します。
		助言者は、三重県津市立藤水(ふじみず)小学校 校長 平松 有吾(ひらまつ ゆうご) 様です。 どうぞ、よろしく願いいたします。
		提言者は、愛知県額田郡(ぬかたぐん) 幸田(こうた) 町立 幸田(こうた) 中学校 松井 亮(まつい りょう) 教頭 と三重県紀北町立 東(ひがし) 小学校 山添典子(やまぞえ のりこ) 教頭です。どうぞ、よろしく願いいたします。
		司会は、三重県熊野市立木本(きのもと) 中学校 仲森 久(なかもり ひさし) 教頭と三重県尾鷲市立尾鷲小学校 山本 浩蔵(やまもと こうぞう) 教頭です。どうぞ、よろしく願いいたします。
		記録者は、熊野市立金山(かなやま) 小学校 坂口 達也(さかぐち たつや) 教頭と尾鷲市立向井(むかい) 小学校 寺本 達也(てらもと たつや) 教頭 です。 どうぞ、よろしく願いいたします。
それでは、この後の進行は、司会者にお願いしてありますので、よろしく願いいたします。		
9:05	司会者挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の仲森 久と申します。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Ⅰの発表後、質疑を行い、グループ協議・報告を行っていただきます。休憩をはさみ、提言Ⅱへ進みます。提言Ⅱも同様に進めた後、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は三重県で担当を決めております。記録につきましては三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いいたします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方でお願いいたします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。 それでは、 提言Ⅰの松井教頭先生 お願いします。
9:10	提言Ⅰ (15分)	
9:25	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた松井(まつい) 先生どうもありがとうございました。
9:30	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅰの研究の視点「 子どもと地域の思いをつなぐ取り組みを生かした豊かな心の育成 」について深まりますよう、協議をお願いいたします。 報告の方は3分以内で要点のみお願いします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。では、グループ協議を開始してください。

10:00		残り5分ほどになりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。
10:05	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
10:15		これより10分間の休憩に入ります。提言Ⅱは、10時25分に再開します。 (司会・記録の交代)
10:25	提言Ⅱ (15分)	後半の部の司会をさせていただきます 山本 浩蔵 です。後半の部を始めます。 提言Ⅱの山添 典子(やまぞえ のりこ) 教頭先生 お願いします。
10:40	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた 山添(やまぞえ)先生 、どうもありがとうございました。
10:45	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅱの研究の視点「 困難を抱えさせられている多様な子どもへの対応と教職員に対する教頭の働きかけ 」について深まりますよう、協議をお願いいたします。 記録は、前回同様をお願いします。では、グループ協議を開始してください。
11:15		残り5分になりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。
11:20	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
11:30	助言 (20分)	それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。 津市立藤水(ふじみず)小学校 校長 平松 有吾(ひらまつ ゆうご) 様 よろしくお願いいたします。 終了 貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。
11:50	閉会の言葉 (運営責任者)	ご助言いただきました 平松校長先生 ありがとうございました。また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。そして、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思います。 以上をもちまして、 第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第2分科会 を閉会いたします。 ここで連絡がございます。 ・アンケートに関しましては、要項最終ページ記載してありますので、二次元コード等により、 11月11日(月)まで に必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。 ・グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、入口受付場所に記録用紙回収箱が置いてありますのでそこに提言ⅠとⅡに分けて提出してください。 ・最後に三重県の方は片づけをお願いします。片づけに関しましては、梅谷会場責任者の指示に従ってください。 それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。
12:00	解散 片付け	

伊勢

第3分科会会場図

安濃



視察者用（東陸事務担当者、全公教会長、全公教研究部員、三重大会本部）に椅子を4脚用意。

グループ数 31G×6人+5G×5人 提言者等 10人 スタッフ 5人

【分科会進行】

(第 3 分科会)

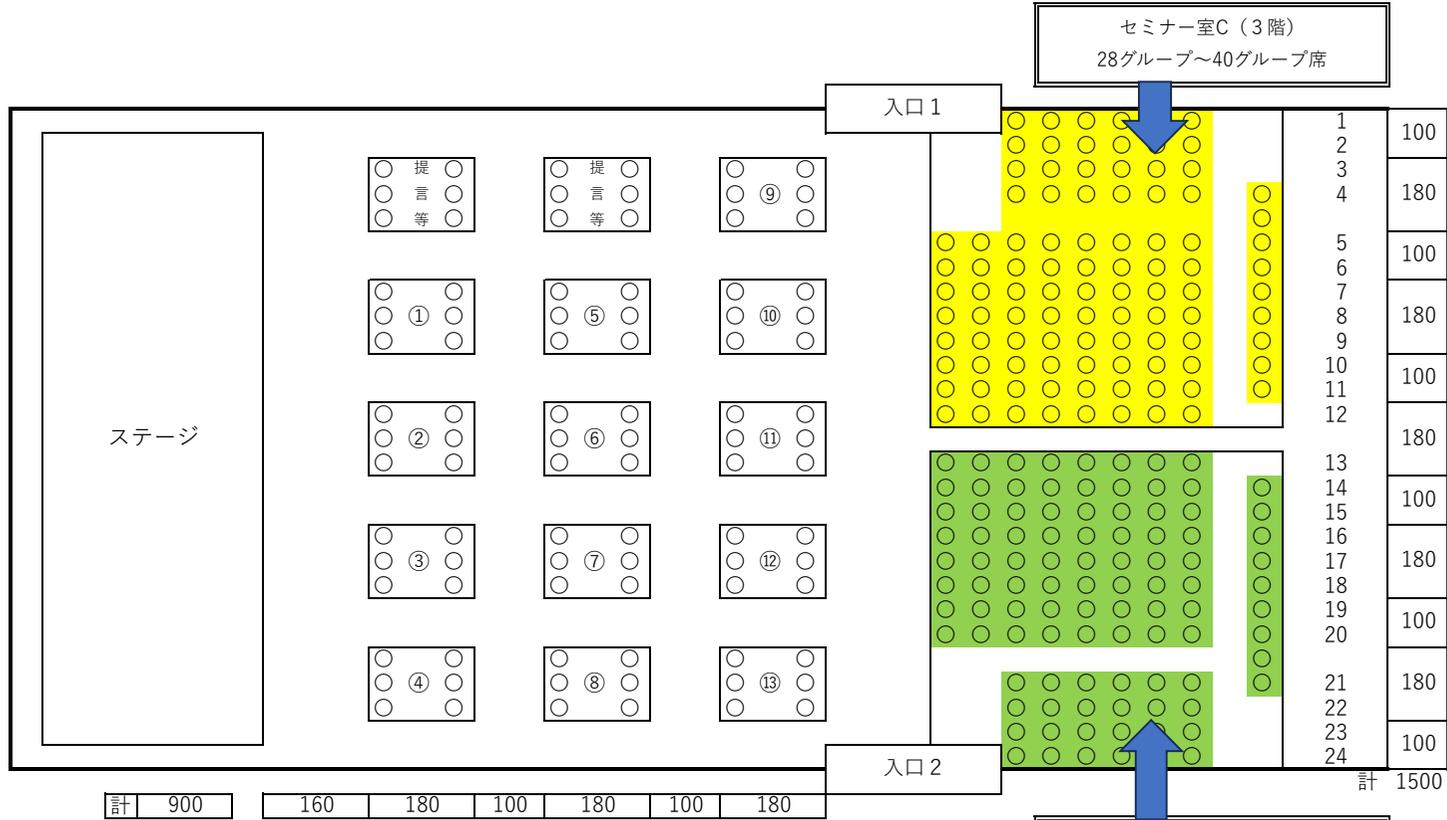
【 ホテルグリーンパーク津 会場】

時刻	次第	進行内容
8:45	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 あとしばらくで分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8:48	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第3分科会の運営を担当します三重県津市立黒田小学校野田幸代です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしく願います。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。
8:50	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第3分科会を開会いたします。この分科会の研究課題は、教育環境整備に関する課題です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介いたします。
		助言者は、三重県教育委員会 小中学校教育課・課長補佐兼班長 谷本博史(たにもと ひろふみ)様です。どうぞ、よろしくお願いいたします。
		提言者は、岐阜県美濃加茂市立西(ぎふけん みのかもしりつ にし)中学校 井上貴弘(いのうえ たかひろ)教頭、美濃加茂市立東(ぎふけん みのかもしりつ ひがし)中学校 飯尾友謙(いいお ともり)教頭、美濃加茂市立山手(ぎふけん みのかもしりつ やまて)小学校 河路大輔(かわじ だいすけ)教頭、三重県津市立豊里(みえけん つしりつ とよさと)中学校 杉村紀男(すぎむら のりお)教頭です。どうぞ、よろしくお願いいたします。
		司会は、三重県松阪市立第四(みえけん まつさかしりつ だいよん)小学校 西村忠悦(にしむら ただよし)教頭と三重県津市立片田(みえけん つしりつ かただ)小学校大杉司和(おおすぎ ともかず)教頭です。どうぞよろしくお願いいたします。
		記録者は、三重県松阪市立中川(みえけん まつさかしりつ なかがわ)小学校 湯浅千夏(ゆあさ ちなつ)教頭と三重県津市立一身田中学校国児分校(みえけん つしりつ いっしんでんちゅうがっこう こくじぶんこう)東浦徹(ひがしうら とおる)教頭です。どうぞ、よろしくお願いいたします。
それでは、この後の進行は、司会者をお願いしてありますので、よろしくお願いいたします。		
8:55	司会者挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の西村忠悦と申します。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Ⅰの発表後、質疑を行い、グループ協議・報告を行っていただきます。休憩をはさみ、提言Ⅱへ進みます。提言Ⅱも同様に進めた後、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は三重県で担当を決めております。記録につきましては三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いいたします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方でお願いいたします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。 それでは、提言Ⅰの井上(いのうえ)教頭先生、飯尾(いいお)教頭先生、河路(かわじ)教頭先生、よろしくお願いいたします。
9:00	提言Ⅰ (15分)	
9:15	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた井上先生、飯尾先生、河路先生、どうもありがとうございました。

9:20	グループ協議 (30分)	<p>それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅰの研究の視点「ICT環境の整備と活用のあり方における教頭の役割について」深まりますよう、協議をお願いいたします。報告の方は3分以内で要点のみお願いいたします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。では、グループ協議を開始してください。</p>
9:45		<p>残り5分ほどになりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。</p>
9:50	報告 (10分)	<p>熱心にご協議いただきありがとうございます。 では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。 次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。</p>
10:00		<p>これより15分間の休憩に入ります。提言Ⅱは、10:15に再開します。 (司会・記録の交代)</p>
10:15	提言Ⅱ (15分)	<p>後半の部の司会をさせていただきます津市立片田小学校 大杉司和です。後半の部を始めます。提言Ⅱの杉村(すぎむら)教頭先生 お願いします。</p>
10:30	質疑応答 (5分)	<p>ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた杉村先生、どうもありがとうございました。</p>
10:35	グループ協議 (30分)	<p>それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅱの研究の視点「地域社会とのつながりと安心・安全な教育環境整備における教頭の関わりについて」深まりますよう協議をお願いいたします。 記録は、前回同様をお願いします。では、グループ協議を開始してください。</p>
11:00		<p>残り5分になりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。</p>
11:05	報告 (10分)	<p>熱心にご協議いただきありがとうございます。 では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。 次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。</p>
11:15	助言 (20分)	<p>それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。 三重県教育委員会 小中学校教育課 課長補佐兼班長 谷本博史(たにもと ひろふみ)様よろしく願いいたします。 終了 貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。</p>
11:35	閉会の言葉 (運営責任者)	<p>ご助言いただきました谷本博史(たにもと ひろふみ)様ありがとうございました。また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。そして、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思っております。</p>
	助言者退席	<p>以上をもちまして、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第3分科会を閉会いたします。 ここで連絡がございます。 ・アンケートに関しましては、要項最終ページ記載してありますので、二次元コード等により、11月11日(月)までに必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。 ・グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、入口受付場所に記録用紙回収箱がおりますのでそこに提言ⅠとⅡに分けて提出してください。 ・最後に津市の方は片づけをお願いします。 それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>
11:45	解散 片付け	
11:55	会場退出	

第4分科会

多目的ホール



視察者用 (東陸事務担当者、全公教会長、全公教研究部員、三重大会本部) に椅子を4脚用意。

No.3

前列

13G×6人= 78人

提言者等 11人 スタッフ 14人

後列

セミナー室C側 13G (6人×11G+5人×2G=76人)

※ グループ討議への移動は、入口1より出て、多目的ホール横の階段から3階へ移動

セミナー室A側 14G (6人×11G+5人×2G=81人)

※ グループ討議への移動は、入口2より出て、案内に従い、2階へ移動

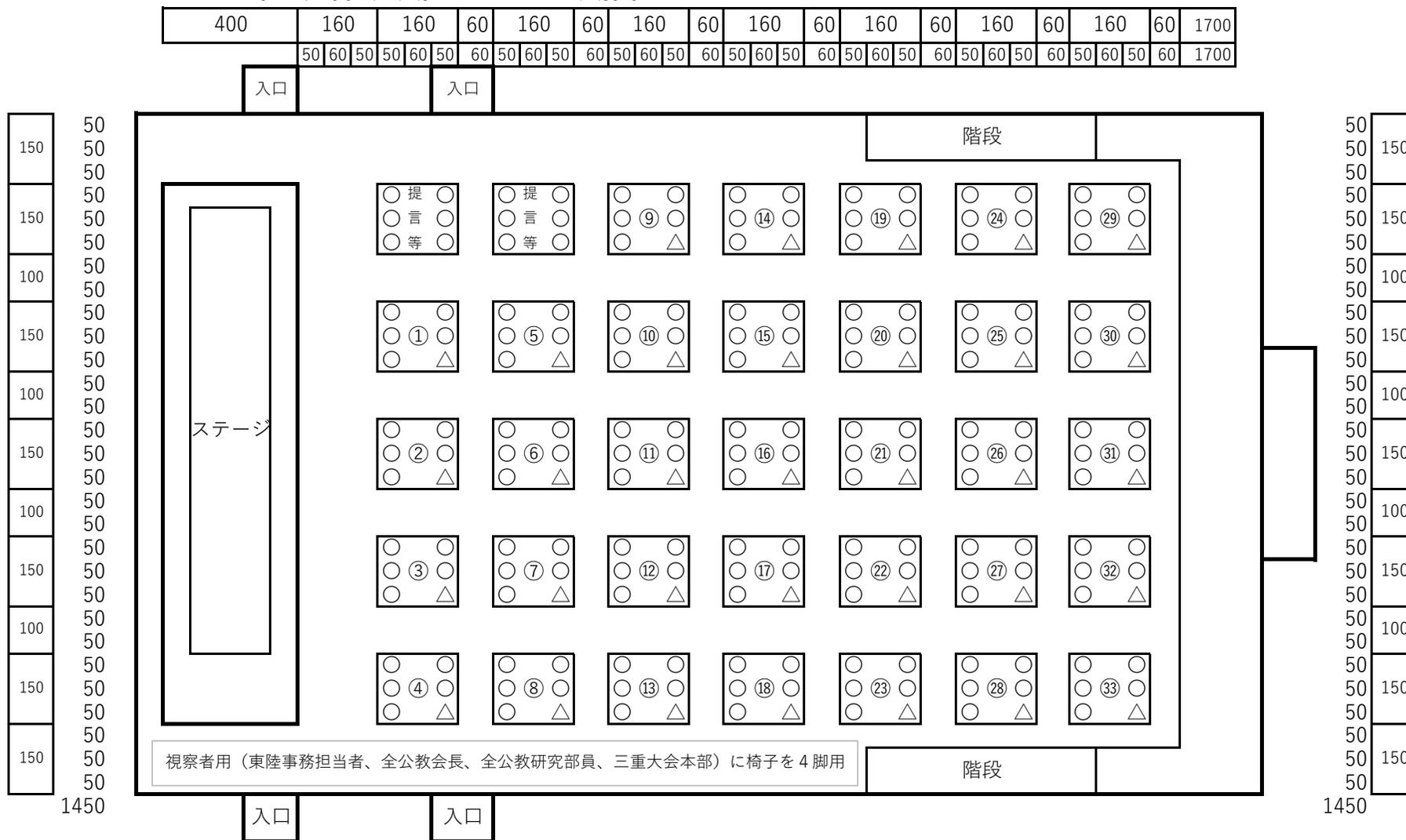
【分科会進行】 (第4科会)

【三重県総合文化センター 男女共同参画センター会場】

時刻	次第	進行内容
8:55	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 あとしばらくで分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8:58	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第4科会の運営を担当します三重県津市立榊原小学校 疋田 哲也です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。
9:00	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第4分科会を開会いたします。この分科会の研究課題は、組織・運営に関する課題です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介します。 助言者は、三重県教育委員会教職員課 班長 山本 エリ (やまもと えり) 様 と 三重県教育委員会教育総務課 班長 野田 昌孝 (のだ まさたか) 様です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 提言者は、福井県若狭町立鳥羽小学校 松宮 誠 (まつみや まこと) 教頭 と 福井県若狭町立みそみ小学校 島津 真喜雄 (しまづ まきお) 教頭、三重県四日市市立中央小学校 高須 英彰 (たかす ひであき) 教頭と 三重県四日市市立三重西小学校 西尾 雅紀 (にしお まさき) 教頭 です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 司会は、四日市市立保々 (ほぼ) 小学校 鈴木 孝俊 (すずき たかとし) 教頭 と 四日市市立大池 (おおいけ) 中学校 羽場 宏幸 (はば ひろゆき) 教頭 です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 記録者は、四日市市立三滝 (みたき) 中学校 岡野 宗介 (おかの そうすけ) 教頭 と 四日市市立八郷 (やさと) 小学校 森 景子 (もり けいこ) 教頭 です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 それでは、この後の進行は、司会者にお願ひしてありますので、よろしくお願ひいたします。
9:05	司会挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の鈴木 孝俊と申します。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Ⅰの発表後、質疑を行い、提言Ⅱも同様に発表後、質疑を行います。その後、休憩となりますが、休憩時間中にみなさんには各々指定の会場への移動をお願いします。休憩後、各会場において 提言Ⅰ、提言Ⅱについて、グループ協議を行っていただきます。グループ協議後、再度、みなさまには こちらの会場にお戻りいただき、協議の報告をしていただきます。最後に、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は 三重県で担当を決めております。記録につきましては 三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方でお願いします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。 それでは、提言Ⅰの松宮 誠 教頭先生、島津 真喜雄 教頭先生 よろしくお願ひいたします。
9:10	提言Ⅰ (15分)	
9:25	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた松宮先生、島津先生どうもありがとうございました。
9:30	提言Ⅱ (15分)	それでは、続きまして 提言Ⅱについて、高須 英彰 教頭先生、西尾 雅紀 教頭先生 よろしくお願ひいたします。

9 : 4 5	質疑応答 (5分)	<p>ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。</p> <p>時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた高須先生、西尾先生どうもありがとうございました。</p> <p>(司会・記録の交代)</p>
9 : 5 0		<p>司会を交代させていただきます。羽場 宏幸です。</p> <p>これより、休憩に入りますが 休憩後は 各会場においてグループ協議をお願いします。</p> <p>提言Ⅰの研究の視点は 「学校における働き方の満足度を高める教頭の役割について」、提言Ⅱの研究の視点は 「校務処理等の効率化の推進に向けた教頭の関りについて」です。研究の視点について深まりますよう、協議をお願いいたします。</p> <p>報告の方は3分以内で要点のみをお願いします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。</p> <p>それでは 会場の移動を含めて15分間の休憩に入ります。各会場で10 : 05にグループ協議を開始してください。そして、この会場において、グループ協議の報告を行いますので、11 : 25に再開できるようお戻りください。</p>
10 : 0 5	グループ協議 提言Ⅰ (35分)	
10 : 4 0	グループ協議 提言Ⅱ (35分)	
11 : 1 5	移動 (10分)	
11 : 2 5	報告 (15分)	<p>熱心にご協議いただきありがとうございます。それでは グループ協議の報告を行います。提言Ⅰについて () グループの報告をお願いします。(終了) ありがとうございました。次に () グループの報告をお願いします。(終了) ありがとうございました。</p> <p>続きまして、提言Ⅱについて、() グループの報告をお願いします。(終了) ありがとうございました。次に () グループの報告をお願いします。(終了) ありがとうございました。</p>
11 : 4 0	助言 (20分)	<p>それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。</p> <p>提言Ⅰについて、 教育委員会教職員課 班長 山本 エリ 様 よろしく願いいたします。(終了)</p> <p>貴重なご助言ありがとうございました。続きまして 提言Ⅱについて、 教育委員会教育総務課 班長 野田 昌孝 様 よろしく願いいたします。(終了)</p> <p>貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。</p>
12 : 0 0	閉会の言葉 (運営責任者)	<p>ご助言いただきました 山本 様、野田 様 ありがとうございました。また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。また、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思えます。</p>
	助言者退席	<p>ここで助言者の方がご退席されます。拍手でお送りしたいと思います。お忙しいところ大変ありがとうございました。(拍手) ※見送り担当の方が一緒に退室する。</p>
		<p>以上をもちまして、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第4分科会を閉会いたします。</p> <p>ここで連絡がございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートに関しましては、要項最終ページに記載してありますので、二次元コード等により11月11日(月)までに必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。 グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、入口受付場所に記録用紙回収箱が置いてありますのでそこに提言ⅠとⅡに分けて提出してください。 最後に三重県の方は片づけをお願いします。 <p>それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>
12 : 1 0	解散 片付け	

第5分科会会場 小ホール会場図



- ※ グループ数29G×6人+4G×5人=194人
 提言者2・助言者1・司会者2・記録者2・運営者1；計 8人 スタッフ 8人 計 210人
- ※ 机上に付箋でグループ番号が張られています。
- ※ △印は、グループ記録席です。（グループ記録用紙が机上に配布済みです。）

【分科会進行】

(第 5 分科会)

【 三重県総合文化センター 小ホール 会場】

時刻	次第	進行内容
8 : 5 5	会場アナウンス	おはようございます。本日は、東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会にご参加いただき、ありがとうございます。 あとしばらくで分科会が始まります。グループごとの座席となっております、座席表をご確認の上、ご着席ください。
8 : 5 8	開会予告 (運営責任者)	まもなく開会いたします。私は、第5分科会の運営を担当します三重県多気郡多気町立勢和小学校寺谷寿美です。何かと不慣れな点が多いかと思いますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。 早速ですが、携帯電話等は電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。ご利用の際は、ロビーでお願いいたします。また、袋に入っていたネームカードに、お名前、県名を記入していただき、机の上に置いてください。
9 : 0 0	開会の言葉 (運営責任者)	ただ今から、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第5分科会を開会いたします。この分科会の研究課題は、教職員の専門性に関する課題です。
	助言者等の紹介 (運営責任者)	初めに、本分科会の助言、司会、提言、記録の先生方をご紹介いたします。 助言者は、三重県津市立橋南中学校 校長 西川和男 (にしかわ かずお) 様です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 提言者は、静岡県藤枝市立大洲 (しずおかけん ふじえだしりつ おおす) 中学校 向島孝至 (むこうじま たかゆき) 教頭、三重県鈴鹿市立平田野 (みえけん すずかしりつ ひたらの) 中学校 神戸勝浩 (かんべ まさひろ) 教頭 です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 司会は、鈴鹿市立一ノ宮 (すずかしりつ いちのみや) 小学校 宮崎美知 (みやざき みち) 教頭と鈴鹿市立稲生 (すずかしりつ いのう) 小学校 大西依子 (おおにし よりこ) 教頭です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 記録者は、鈴鹿市立鈴西 (すずかしりつ れいせい) 小学校 佐藤義央 (さと う よしお) 教頭と鈴鹿市立白子 (すずかしりつ しろこ) 小学校 大谷昌子 (おおたに まさこ) 教頭です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。 それでは、この後の進行は、司会者にお願ひしてありますので、よろしくお願ひいたします。
9 : 0 5	司会者挨拶	ただ今、紹介いただきました司会の宮崎美知と申します。
	説明	分科会の進め方について説明いたします。要項の3ページをご覧ください。 最初に提言Ⅰの発表後、質疑を行い、グループ協議・報告を行っていただきます。休憩をはさみ、提言Ⅱへ進みます。提言Ⅱも同様に進めた後、全体を含めて助言をいただきます。時間通りに進行できますようご協力をお願いします。 なお、グループ協議の司会は三重県で担当を決めております。記録につきましては三重県の担当がいるグループとそうでないグループがございます。三重県の記録者がいないグループでは、グループ内で記録者を決めていただきますようご協力をお願いします。また、グループの報告につきましては、ご参会の三重県以外の先生方でお願いします。グループ協議を始める前に、簡単な自己紹介をしていただけたらと思います。 それでは、提言Ⅰの向島 (むこうじま) 教頭先生、よろしくお願ひします。
9 : 1 0	提言Ⅰ (15分)	
9 : 2 5	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、ご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。 時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた向島先生、どうもありがとうございました。
9 : 3 0	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅰの研究の視点「教職員の授業力を高め資質・能力の向上を図るための教頭の役割について」深まりますよう、協議をお願いします。 報告の方は3分以内で要点のみお願いします。他のグループは協議記録の中で強調したい部分にマーカーをつけて提出していただきます。では、グループ協議

		を開始してください。
10:00		残り5分ほどになりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。
10:05	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
10:15		これより10分間の休憩に入ります。提言Ⅱは、10時25分に再開します。(司会・記録の交代)
10:25	提言Ⅱ (15分)	後半の部の司会をさせていただきます大西依子です。後半の部を始めます。提言Ⅱの神戸(かんべ)教頭先生、お願いします。
10:40	質疑応答 (5分)	ありがとうございました。ただ今の提言につきまして、詳しく聞きたいことやご質問ご意見はございませんか。発言の際は、所属とお名前をお願いします。時間の関係もありますので、以上をもちまして質疑応答を終了します。提言いただいた神戸先生、どうもありがとうございました。
10:45	グループ協議 (35分)	それでは、ただ今よりグループ協議を始めます。提言Ⅱの研究の視点「教職員の専門性に対する意識及び学校運営参画への意欲を向上させるための教頭の役割について」深まりますよう、協議をお願いいたします。 記録は、前回同様をお願いします。では、グループ協議を開始してください。
11:15		残り5分になりました。まとめに入ってください。報告は、()と()と()グループの方をお願いします。
11:20	報告 (10分)	熱心にご協議いただきありがとうございます。 では()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。次に()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。続いて、()グループの報告をお願いします。(終了)ありがとうございました。
11:30	助言 (20分)	それでは、2つの提言と分科会全体に対する指導助言をいただきます。 三重県津市立橋南中学校 校長 西川和男(にしかわ かずお)様よろしくお願ひいたします。 終了 貴重なご助言ありがとうございました。これで2つの提言についての協議会を終え、司会の任を解かせていただきます。
11:50	閉会の言葉 (運営責任者)	ご助言いただきました西川和男様ありがとうございました。また、提言者、司会者、記録者、グループ協議の司会・記録のみなさま本当にありがとうございました。そして、熱心にご協議いただきました参会の先生方、どうもありがとうございました。本日の糧を明日からの学校運営に活かしていきたいと思ひます。 以上をもちまして、第52回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会三重大会第5分科会を閉会いたします。ここで連絡がございました。 ・アンケートに関しましては、要項最終ページ記載してありますので、二次元コード等により、 11月11日(月)まで に必ずお答えいただきますようよろしくお願いいたします。 ・グループ協議の記録用紙は、グループの司会者にご提出ください。司会の先生は、ステージ上に記録用紙回収箱を設置しますので、そこに提言ⅠとⅡに分けて提出してください。 ・最後に 三重県の方は 片づけをお願いします。 それでは、皆様どうぞお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。
12:00	解散 片付け	

